

令和4年度 学校評価 自己評価書

学校 北海道雨竜高等養護学校

1 本年度の重点目標

- 1 新型コロナウイルス感染症対策と生徒の健やかな「学びの保障」の両立を図るとともに、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、学校としての組織的・計画的な教育の質的向上に努める。
- 2 キャリア教育を推進し、職業自立・社会参加に向けた取組を充実させる。
- 3 育成を目指す資質・能力を明確に示し、具体的な取組内容や方法の重点化を視点とした教育課程の改善を図る。
- 4 専門教科の教育内容について、系統性と一貫性を踏まえた学科間の連携強化を図る。
- 5 生徒の健康的な生活づくりを推進するため「食育」を重視し、学校全体として効果的な指導・支援に努める。
- 6 「新しい生活様式」の継続・徹底と、それを踏まえた健康・安全指導の充実を図る。
- 7 学舎連携のもと、組織的な教育相談・生徒指導の充実を図るとともに、「いじめのない学校」づくりを推進する。
- 8 地域生活への移行という観点から、実践的スキルや社会性、自己管理能力を高める指導の充実を図る。

2 本年度の経営方針

- 1 新型コロナウイルス感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、持続的に生徒の学びを保障するため、柔軟・適切で機動的な学校経営に努める。
- 2 3年間で「どのような力を身につけさせたいのか」を生徒・保護者・地域に明確に示す。
- 3 教務部・舎務部・事務部・各学科・学年・分掌間の情報交換、連携の強化、日々の「報告・連絡 相談・確認」の徹底を 図り、効率的・効果的な業務の遂行に努める(働き方改革の推進)。
- 4 チームとして機能する校内支援の充実と、地域の特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。
- 5 教職員の危機管理意識を高め、どのような場面においても各関係との情報連携を密にし、迅速で適切な対応に努める。
- 6 学校活性化を図るため、ミドルリーダーを中核とした機動的・協働的な組織体制の構築に努める。
- 7 生徒指導の実践的な研修を推進し、教職員の生徒指導の専門性の向上に努める。
- 8 新型コロナウイルス対応をはじめ、諸課題に協働的に取り組み、変化に主体的に対応できる教職員集団の育成を図る。
- 9 教育公務員としての自覚を持ち、服務規律の遵守に対する認識の維持、向上に努める。

3 自己評価結果

自己評価の達成状況や取組の適切さについては、職員評価と保護者アンケート関連項目を併せるとともに、自由記述の内容も加えて評価する。

A(達成) B(おおむね達成) C(やや不十分) D(不十分)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	検討事項・改善の方策	各アンケート関連項目
学校経営	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っているか。	B	B	学校経営について、教職員間や関係部署同士の情報共有に努め、教職員が積極的に学校経営に参画する意識を高めるよう指導・助言に努めます。	教1
教育課程	本校の教育課程は、生徒の特性等や地域の実態ならびに学科の特色を考慮して編成し、適切に実施されているか。	B	B	教育課程について、次年度に向けて週時程を見直すとともに、新教育課程の実施と評価に努めています。	教2、保1
	地域資源を活用し、地域と連携した教育活動を展開しているか。	B	A	地域資源を活用した教育活動を進めています。新型コロナウイルス感染症の影響による制限があります。今後も可能な限り、積極的な取り組みを進めていきます。	教3、保2
個別の計画等	個別の指導計画・教育支援計画に基づき、具体的な目標の設定と評価を行っているか。	B	B	個別の教育支援計画及び個別の指導計画を有効活用するために、今後も生徒の実態把握と、具体的な目標の設定及び評価に努めます。	教4、保3
進路指導	社会的・職業的自立に向けて必要となる資質や能力の育成を行っているか。	B	B	自主性やコミュニケーション力など、社会参加や自立に向けた資質・能力の育成に努めています。卒業生の職場や地域での様子を参考にしながら、在校生の指導に努めます。	教5 保4、5
生徒指導	生徒理解に努め、教職員と生徒との信頼関係を築き、学舎連携のもと指導に取り組むことに努めているか。	B	B	生徒指導について、学校、寄宿舎、家庭が連携して対応するように努めています。今後も情報共有に努めるとともに、指導方針などについてそれぞれの立場から建設的な意見を出し合い、生徒一人一人に応じた生徒指導に努めます。	教6、保6
	いじめの実態把握と早期発見・報告に努めるとともに、組織的な対応・課題解決を行っているか。	A	A	いじめへの対応については、事実確認や説明、事後指導を適切に進めるよう引き続き取り組みを進めます。	教7、保7
寄宿舎指導	生徒の自立的に活動する力の向上や余暇の充実を図る指導・支援を行っているか。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響で制限がある中でも、工夫をしながらできる限り、充実した生活指導や余暇活動に努めています。	教8、保8

安全・健康・指導	日常の健康観察や衛生管理、疾病予防、生徒の自己健康管理能力の向上のための指導を行っているか。	A	A	新型コロナウイルス感染症への対応を含めて、日常的な安全指導について、教職員が危機意識をもって当たっています。	教9、保9
	食に関する指導を通して生徒の健康管理や「食」の大切さについての理解啓発を行っているか。	A	A	食育について、おにぎりプロジェクトや郷土料理月間など工夫を凝らした取組を行うとともに、情報発信に努めています。	教10 保10
危機管理	防災教育・訓練の実施と必要備品の整備を計画的に進めているか。	A	A	計画的に防災訓練と備品等の整備に努めています。また、雨竜町に協力を得て災害備品を借用し、避難訓練及び食事訓練を行いました。	教11 保11
情報提供	学校の経営方針や教育活動、寄宿舎の生活について、地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っているか。	B	B	ホームページを活用し、学校概要や教育課程を紹介しています。雨竜高養ブログの閲覧も増えています。今後も保護者や地域に向けた情報発信に努めます。	教12 保12
保護者との連携	保護者と教職員が連携、協力して、充実したPTA活動や諸活動を行っているか。	C	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な取り組みができていませので、内容を工夫しながら取り組みを進めていきます。	教13 保13、14
服務規律	教職員は生徒の人権を尊重し、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いで教育活動を行っているか。	B	B	今後も、服務規律について高い意識をもつとともに、教育公務員としてふさわしい言動・身だしなみに努め、生徒の手本となるよう心掛けます。	教14 保15
センター的機能	教育相談、小・中・高への支援など、特別支援教育のセンター的な機能の発揮に努めているか。	A	A	パートナーティーチャー事業や教育相談などを通して、地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮に努めています。	教15
組織運営	働き方改革に向け、諸法規への対応や時間外勤務縮減を意識した職務の効率化に取り組んでいるか。	C	C	働き方改革の推進に向けて、業務の精選や職員間の情報共有、連携に努めています。	教16
研修	校内外の研修を積極的に活用し、授業改善に生かしているか。	B	B	学習評価やICT機器の活用について研究を進めました。今後も研修に努め、授業改善に生かすよう努めます。	教17

4 自己評価における特記事項

○教職員評価及び保護者のアンケートで同内容の項目をまとめ、それぞれの結果を基に分析し、改善の方策を検討した。

